

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動学習支援教室ふれんず山王教室（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月15日 ~ 令和7年 1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和7年 1月15日 ~ 令和7年 1月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが充実している。	・運動療育では、粗大運動や微細運動、ルールのある遊び等を通して、楽しく身体を動かす活動をしている。 ・学習療育では、運動からの切り替えを通して、落ち着いて集中する習慣づけを行っている	児童発達支援での療育の中にも、野外活動を何度か取り入れ喜んでいただいたが、定期的に実施出来るよう計画していきたい。
2	より専門的支援が可能な理学療法士、作業療法士等が在籍している。	専門的な運動スキルやソーシャルスキル、コミュニケーションスキルの向上につながる専門的支援を行っている。	今後は令和7年4月から言語聴覚士も加わり、より専門的で総合的な支援が可能となる。
3	お子様および保護者様の満足度が高い。	地方でも都心部に遅れることない流行の把握と自然に囲まれた地域の特性を最大限に活かした活動と個別支援計画に基づいた日々の療育プログラムの積み重ねを大切にしている。	新年度から開所予定の教室も利用者さんの安心につながる取り組みとして準備を進めている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングに関する認知度が低い。	研修を受けた職員が在籍して実施体制を整えているが、保護者様に周知できていない。	保護者様に情報発信していくことで再度周知を図り、要望があった時に迅速な対応ができるようにしていく。
2			
3			